

鏡石町に来て40年

鏡石町交通安全協会

仁井田支部長

鈴木

隆



鈴木 隆さん

旧長沼町より移り住んで40年になります。

転居した当初は、朝早くから夜遅くまで仕事だったことから、地域の方と顔を合わせることがなかなか出来ず、交流に苦労しましたが、移住して何年か過ぎた頃、行政区の班長になる機会がありました。班長という事で不安はありましたが、班の方々と交流を重ねることで、班の方々も

石町でも至る所で家が壊れ、道路の亀裂、農地の被災、水道水の断水など、今まで経験したことのない事がたくさんありました。忘れられないのは、福島原発事故の放射能汚染。年が過ぎてもまだまだ問題を抱えています。

昨年台風による水害被害で成田地区が大変な被害に遭い、これから復旧には地区の人たちの苦労を考えると大変だと思っています。

私はいま、町の交通安全協会仁井田地区の支部長をやっています。子供たちや地域の方々の安全を見守っております。

広報車で町を回ることがあり、東日本大震災で被災した道路はほとんど整備されていますが、道路の白線がだいぶ消えかかっている箇所が多いと思いますので、早急に復旧して欲しいと思います。

町の行政に関わり、鏡石町の良さが分かってきたので、もっともっと住みよい町にな

また東日本大震災では、鏡

●お詫びと訂正
前号の編集後記の中で聖火ランナーの関蒼くんの名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
・訂正箇所
P12 編集後記内の氏名
(正) 関 蒼
(誤) 関 葵

第3回臨時会 災害関連補正予算 一般会計補正予算案を審議・全会一致で可決

- 第3回鏡石町議会臨時会は、令和2年1月21日(火)に開催されました。この臨時会では、10月に発生した台風19号による災害復旧対策を迅速に進めるための一般会計補正予算案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。
- 今回の一般会計補正予算案では、237,493千円を増額するもので、主な内容は、次のとおりです。
- 被災者支援特別給付金
1, 850千円
- 被災児童生徒就学援助費
1, 180千円
- 農用地等災害復旧測量設計業務委託
16, 000千円
- 農業用機械修繕・再取得支援交付金
162, 000千円
- 土砂流入水田等対策事業
1, 251千円
- 被災農家等営農再開緊急対策事業
4, 970千円
- 公共土木施設災害復旧工事の増額
8, 100千円

編集後記

未知の新型コロナウイルス感染症の拡大が止まることを知らず、学童の教育を受ける権利を奪い、春の選抜高校野球大会の中止、2020東京オリンピック・パラリンピックまで延期になり、聖火リレーもストップする事態です。経済の損失はいかばかりになるのか計り知れない影響が出始めており、早期の国の手立てがある事を願いたいものです。

この広報広聴常任委員会の委員でもありました木原秀男議員が去る2月9日に志し半ばで逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。予算審議も終わり、成田地区の早い復興を願い、令和2年度が明るい未来になれるよう、町民の皆さんのご意見・ご要望をお聞かせください。(橋本喜一委員)

- 発行責任者 議長 古川 文雄
- 副議長 今泉 文克
- 委員 大河南正雄
- 委員 畑 幸一
- 委員 角田 真美
- 委員 橋本 喜一
- 委員 円谷 寛

かがみい

議会だより

No.176
令和2年5月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒959-0492 福島県鏡石町
不明沼345
電話0248(62)2110
印刷 尚米山印刷

新入学 期待に胸膨らませ

4月6日(月) 町内の小・中学校で入学式が行われました。晴れの制服、大きなランドセル。新一年生の表情は、少し緊張しながらも、自信に満ちあふれ、そのまなざしは真っ直ぐ前を見据えています。次世代を担う子どもたちが今、新たな一歩を踏み出しました。新型コロナウイルスなんかには負けないぞ！

目次

- 第3回定例会 2～3ページ
- 審議の結果 4ページ
- 一般質問 5～11ページ
- 第3回臨時会 12ページ
- 町民の声 12ページ

令和2年度予算を可決 台風19号災害復旧事業を加速

第3回定例会



第3回町議会定例会は、3月5日(木)から18日(水)までの14日間開催し、新年度予算や鏡石町森林環境譲与税基金条例の制定など36議案を審議し、議決しました。

また、一般質問は3月6日(金)に行われ、6名の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症予防対策や台風19号被災者支援対策など多くの行政課題について、質問が行われました。

予算審査特別委員会設置 一般会計外10会計を審議

令和2年度予算の審査では、古川議長を除く10名の議員で「予算審査特別委員会」を設置。委員長に小林政次議員、副委員長に畑幸一議員を選出しました。第3回定例会中の予算審査は、3月11日から13日までの3日間行われ、一般会計外、10会計を審査しました。

各会計の予算審査は、担当課別に行われ、担当課長及び担当者から詳細な説明を受け、活発な質疑が行われました。本会議最終日には、小林委員長が審査した全会計について「可決すべき」との審査結果を報告し、特別委員会審査結果のとおり全会一致で可決しました。

故木原秀男議員を追悼 町議6期、在職20年4ヶ月

去る2月9日、故木原秀男議員が突然、逝去されました。今定例会では、故木原議員の功績をたたえ、本会議場の全員で黙祷を捧げると共に、同じ委員会に在籍した角田真美委員長が追悼演説を行いました。

また、木原議員は、7年以上に渡り町監査委員を務めたことから、全国町村監査委員協議会長から監査功労を表彰されたため、遠藤町長から、洋子夫人に賞状が伝達されました。



追悼演説を行う
角田委員長



賞状を受ける洋子さん

令和2年度各会計当初予算

会計区分	令和2年度	令和元年度	増減率(%)	
一般会計	5,689,000	5,968,000	△4.7	
国民健康保険特別会計	1,328,020	1,304,091	1.8	
後期高齢者医療特別会計	120,754	104,426	15.6	
介護保険特別会計	1,069,500	1,027,500	4.1	
土地取得事業特別会計	18,379	30,056	△38.9	
工業団地事業特別会計	45,637	44,538	2.5	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	179,400	166,600	7.7	
育英資金貸付費特別会計	4,869	4,873	△0.1	
公共下水道事業特別会計	518,800	499,500	3.9	
農業集落排水事業特別会計	76,900	79,000	△2.7	
小計	9,051,259	9,228,584	△1.9	
上水道事業会計	収益的	291,297	289,355	0.7
	資本的	1,617,284	993,914	62.7
	計	1,908,581	1,283,269	48.7
合計	10,959,840	10,511,853	4.3	

予算総額は
約109億
6千万円

今回の定例会では、右表のとおり109億円を超える予算を決議しました。対前年比では、約4億5千万円、4.3%増、一般会計は56億89百万円、対前年比4.7%の増減となりました。総額での増

加の要因は、上水道事業会計で第5次拡張事業により6億2,531万円が増加したことによりです。

令和2年度予算については、予算審査特別委員会(小林政次委員長)が設置され、3日間にわたり審査されました。結果を定例会最終日に報告され、一般会計ほか10会計とも原案のとおり可決しました。

人権擁護委員を同意

今定例会には、人権擁護委員の任期満了に伴う1件の再任と2件の新任の意見を求める諮問3件について、選任が同意されました。任期は、令和2年7月1日から3年間で、選任同意された委員は、次のとおりです。

佐藤 玲子(中町 再任)
竹内 陽(本町 新任)
高原 芳昭(成田 新任)

令和2年度 鏡石町主要事業計画

事業名	事業費
(被災者支援事業)	
農地等被災稲作農家営農維持・継続支援事業	稲作農家の営農維持・継続に対する補助金の支援事業 9,040
農機具等緊急移動支援事業	浸水の恐れのある農機具等を避難させる事業 250
災害援護資金貸付事業	被災者への災害援護資金の貸付事業 32,000
被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業	児童の運動量の確保や芸術・自然と触れ合う機会を増やすための事業 2,665
(原子力災害対策事業)	
ふくしま森林再生事業	森林の放射性物質の影響の低減を図る事業 41,191
食品等モニタリング事業	食品等の放射性物質簡易測定検査の実施 3,920
公立岩瀬病院WBC運営事業	内部被ばく線量検査車両の運営費負担 3,368
学校給食食材放射能測定事業	給食使用食材の放射能測定 2,814
風評被害対策事業	農作物放射能汚染検査料等 357
原子力災害対策補完事業	除染用仮置場原形復旧 22,574
(子育て支援関係事業)	
子育て世代包括支援センター事業	母子保健及び育児に関する相談支援業務等 4,910
病児保育事業	病児保育事業を実施する保育施設を支援 4,544
出生支援事業	不妊治療に要する治療費の一部助成 1,000
のびのび子育て応援券支給事業	新生児への給付金(商品券)支給 600
ブックスタート事業	新生児への読み聞かせ用絵本セットの贈呈 199
オリジナル結婚記念証作成事業	町オリジナル結婚記念証の作成 296
(進化する鏡石実行プロジェクト)	
駅に降りてみたくなる事業	田んぼアート事業 5,128 公共施設等案内看板更新事業 2,500
通りを歩いてみたくなる事業	グリーンロード整備事業 700
	花いっぱい運動事業 1,270
住んでみたくなる事業	地域連携交流事業 2,349
	来て「かがみい」移住定住促進事業 3,800
	来て「かがみい」移住定住等情報発信事業 497
	地域おこし協力隊事業 6,688
	婚活支援事業 500
計	153,160

陳情2件を採択

今定例会には、陳情2件が提出され、産業厚生常任委員会(角田真美委員長)に付託され、3月10日(火)に開かれた常任委員会において審議されました。

陳情第3号「看護師と介護

意見書案1件を採択

従事者の特定最低賃金を新設するための意見書提出を求め「陳情」第4号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出陳情」の2件については、委員会審議の結果「採択すべきもの」と決し、3月18日の本会議において、角田委員長から報告がされ、産業厚生常任委員会決定のとおり可決しました。

本会議最終日、総務文教常任委員会の橋本委員長から、意見書案第2号「厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書」が提案され、賛成多数で採択されました。この意見書の趣旨は、地方議員のなり手不足解消策の一つとして、今後、議員になるうとする若い世代の議員の年金制度を確立しようとするものです。

一般質問

一般質問

は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点をし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。

(1人1ページ)なお、今議会の登壇議員は6人でした。

六議員が町政を問う

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
6	今泉文克	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成田北町・新町地内歩道設置と道路拡幅 ○ 町有車輛の運用活性化推進策 ○ (仮称)健康福祉センターの設置内容について
7	橋本喜一	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の提供と避難誘導について ○ 農業情勢について
8	井土川好高	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全対策について ○ 国道4号線の4車線化に伴う騒音対策について
9	畑幸一	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町行政の課題と対応について ○ 鳥見山公園の管理と整備について ○ 町の駅「かんかんてらす」の運営状況について
10	円谷寛	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナウイルス肺炎拡大防止策について ○ 学校給食無料化の実施について ○ 町民プール利用者拡大策について ○ 林地保全と耕作放棄農地の活用策について ○ 阿武隈川遊水池計画について
11	菊地洋	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉政策について ○ 空き家対策について ○ 地域おこし協力隊について ○ 成田地域の今後の計画について

第3回定例会 審議の結果(賛否が分かれたもの)

* 下記以外の議案は、全会一致で可決されました。 * 「○」賛成 「×」反対 「-」古川文雄議長は採決に加わらない。

議案・報告等	結果	畑幸一	角田真美	橋本喜一	菊地洋	小林政次	井土川好高	渡辺定己	大河原正雄	今泉文克	円谷寛	古川文雄
意見書案第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-

第3回定例会 審議の内容

※令和2年3月定例会議案(諮問等含む)36件(条例制定1件、条例改正9件、新年度予算11件、補正予算9件、諮問3件、陳情2件、その他1件)

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
諮問第1~3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(任期満了に伴う選任に同意、再任1名、新任2名)	議案第62号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(地方公務員法の改正による改正)
議案第40号	鏡石町森林環境譲与税基金条例の制定について(新たな森林環境譲与税を有効に活用するため基金を創設する。)	議案第63号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(会計年度任用制度の運用による改正)
議案第41号	令和元年度鏡石町一般会計補正予算(第7号)(台風19号災害関連予算の増額及び事業実績による整理予算など)	議案第64号	鏡石町語学指導等を行う外国青年の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(会計年度任用制度の運用による改正)
議案第42号	令和元年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)(事業実績による減額補正など)	議案第65号	鏡石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(法律の改正に伴う改正)
議案第43号	令和元年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(事業実績による増額補正など)	議案第66号	鏡石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(法律の改正に伴う改正)
議案第44号	令和元年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第3号)(事業実績による予算整理、増減なし)	議案第67号	鏡石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(指導員経過措置の延長)
議案第45号	令和元年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)(保留地処分の実績により売り払い収入の増額補正など)	議案第68号	鏡石町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について(法律の改正に伴う改正)
議案第46号	令和元年度鏡石町育英資金貸付費特別会計補正予算(第1号)(事業実績による予算整理など)	議案第69号	鏡石町道路構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(法律の改正に伴う改正)
議案第47号	令和元年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)(事業実績による減額補正など)	議案第70号	河原地区災害復旧工事請負契約の締結について(台風19号災害復旧工事の契約締結)
議案第48号	令和元年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)(災害復旧に係る繰越明許費の設定)	意見書案第2号	厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書(案)(議員のなり手不足を解消するための制度加入)
議案第49号	令和元年度鏡石町上水道事業会計補正予算(第3号)(事業実績による減額補正など)	意見書案第3号	看護師と介護従事者の特定最低賃金を新設するための意見書(案)(人材を確保するための処遇改善)
議案第50~60号	令和2年度鏡石町一般会計及び特別会計予算(合計11会計の新年度予算)	意見書案第4号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)(政府が掲げる「全国平均1000円を目指す」との方針に沿った改善及び毎年の改定の諮問時期を早め早期発効を求めるもの)
議案第61号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される鏡石町職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(地方公務員法の改正による改正)		

- 防災情報の提供と避難誘導について
- 農業情勢について

橋本喜一議員



総務課長 平成30年の台風13号から水害対応タイムラインの試行を始めており、最大級の警戒が必要と判断したためタイムラインに定められた基準より早

質問 実際の災害においてタイムラインを活用して対応した事例はあるか。

総務課長 ハード対策だけでなく、ソフト対策の充実強化による早めの避難誘導が重要であり、その一つとして災害対応タイムラインの活用が効果的であると考えている。

質問 町では災害に対するタイムラインが整備されているか。



町防災行政無線システム



県総合情報ネットワークシステム

質問 行政区や地域住民に向けたタイムラインも必要であると思うが執行の考えはどうか。

総務課長 国から管理を委託されている福島県からの指導のもと作成され、県が取るべき行動も併記されており、連携した対応が図られると思う。

質問 町だけでなく国や県、近隣市町村と連携したものでなければならぬと考えるが、連携を図る考えはあるか。



防災行政無線 屋外拡声器

総務課長 より身近な行政区や住民それぞれに状況に合わせたタイムラインの必要性についても検討すべきものと考えているが、整備されていない。

質問 地域住民向けのタイムラインを適切に運用するためには、迅速な情報提供が不可欠であるが、どのように考えるか。

総務課長 現在は防災無線を中心にホームページ、登録制メールさらにはエリアメールや広報車の運行など、状況に合わせて可能な限り情報提供に努めているところである。



秋のみどり

町長 令和2年度町内の米の作付の見通しは、主食米・備蓄米・飼料米など合わせると850haが見込まれる。

質問 先進自治体においては、ITCを活用した災害情報提供システムが導入されているが、導入の考えはあるか。

総務課長

エリアメールなど複数の情報ツールに対し、迅速に情報提供を行うことができるシステムなどがあり、導入の必要性について検討していく。



今泉文克議員

- 成田北町・新町地内歩道設置と道路拡幅について
- 町有車輛の運用活性化推進策について
- (仮称)健康福祉センターの設置について

質問 成田北町・新町地内歩道設置と道路拡幅は交通安全上からも歩道の必要性と道路拡幅は急を要するかと考えるが。

都市建設課長

町道2004号線は農免道路(町道北町堀米線)と県道須賀川矢吹線を結ぶ町道であり路線沿いには集落が隣接し県道にアクセスできる利便性の高い路線である。現況は全幅6mの車線道路であり集落内は建物が隣接しており朝夕は集落内の学生はもちろん近隣の工業団地等の通勤通学に利用されている状況である。これらの利用状況を踏まえ検証していきたいと考えているのでご理解願いたい。

質問 現在町管理の車輛は何台あるのか。

総務課長

令和2年3月現在、町管理の公用車は33台である。

質問 車輛運用の管理(記録・整備・利用状況他)は適正に行なわれているのか。

総務課長

公用車の運行記録等について

では各課ごとの管理になっており各車両に備え付けてある運行日誌に、①使用日時②目的地③走行距離④使用者名を記入することとなっている。また車検やタイヤ購入など公用車の整備管理については総務課において公用車台帳を作成し経過年数に応じ対応している。

質問

総務課長

現在公用車にラッピングを施す自治体も増えており、自治体の名物をPRするものやキャラクターをデザインするものなど様々であり、車体の一部に広告スペースを設けている場合もある。町おこしや財源確保にもつながるため、現在実施している自治体の先例を研究しながら導入について検討していきたい。

質問

(仮称)健康福祉センター

の設置について。設置内容計画の状況はどのようになっているか。

福祉こども課長

昨年8月に区長協議会長や福祉団体関係者、学識経験者

で組織する基本計画策定委員会を開催し、基本計画の策定に着手した。内容は鏡石町第5次総合計画を最上位計画に位置づけ、各種関連計画を踏まえながら健康・高齢・児童・社会・障がいなど福祉機能のほかに防災機能を取り入れた内容となっている。健康環境課・福祉こども課・児童館の行政機能をはじめとして町社会福祉協議会・地域包括支援センター・県社会福祉協議会・生活自立サポートセンター・町シルバー人材センターとして整備する内容となっている。

質問

建設費の計画内容と確保等はどのようになっているか。

福祉こども課長

総事業費が10億円から12億円程度と多額の事業費が想定される。その財源として起債や基金各種補助金を想定しているが、長期的な財政負担も勘案し、今後財政部局と協議しながら適正な時期を見極め、財源確保に努めていく。

質問

健康福祉センター設置後の健康・福祉・介護・医療等の町の具体的な方策はどのような

に連携されるのか。

町長

高齢福祉の観点では今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう地域包括ケアシステムの構築が求められている。また児童福祉・母子保健については子育て世代包括支援センターにより必要に応じて個別に支援プランを策定し保健・医療・福祉・教育等の地域の関係機関による切れ目のない支援を行なうことが望まれている。このほか、障がい者支援や生活困窮者支援についても関係機関が連携し、さらに健康部門として乳幼児からお年寄りまですべての町民が生涯健康で生きがいのある人生を送るための施策を展開して、部門同士の連携強化によって将来の健康寿命の延伸に効果的な高齢者福祉事業や介護予防事業が実現可能になると考えている。これらを具体的に実施していく上で、センター内に連携機能群が集約されることにより情報の共有化においても連携効果が得られるものと考えている。

質問

先進自治体においては、ITCを活用した災害情報提供システムが導入されているが、導入の考えはあるか。

総務課長

エリアメールなど複数の情報ツールに対し、迅速に情報提供を行うことができるシステムなどがあり、導入の必要性について検討していく。

質問

令和2年度町内の米の作付の見通しは、

主食米・備蓄米・飼料米など合わせると850haが見込まれる。



- 町行政の課題と対応について
- 鳥見山公園の管理と整備について
- 町の駅「かんかんてらす」の運営状況について

畑 幸一議員

質問 婚活支援事業の推進内容についてどうなっているか。

総務課長 核家族化や高齢化などで班長等の役割につくのが困難で脱退を希望する方が多くなり、班の維持が難しくなっている地域もあると聞く。今後区長会において今後の方策について協議していきたい。

質問 行政区・班脱退と班消滅の状況と対応はどうなっているか。

町長 農作物への対策が重要と考え、放射能汚染検査、農地の土壌分析検査などを実施している。また農作物の販路拡大とPRを昨年は沖縄でイオンの店舗などを会場に実施し高評価を頂いた。

質問 原発事故の風評被害の払拭に向けた対策は。



鳥見山陸上競技場

都市建設課長 鳥見山陸上競技場は供用以来25年が経過しトラックの表面のウレタン層が老化し滑りやすくなっており改修の必要があると認識している。町公園施設長寿命化計画に位置づけており、改修に向けて取り組んでいる。

質問 鳥見山陸上競技場の改修計画は。

総務課長 婚活支援事業として12月に町単独で実施したがカップルの成立はなかった。2月には天栄村との共同開催で実施し、カップルが5組、そのうち3組が当町からの参加者であった。今後も引き続き気軽に参加できるようにイベントを進めていきたい。

総務課長

組んでいきたい。

質問 鳥見山体育施設の使用料は、

教育課長

使用料は町体育施設条例で決められており、多目的広場は全面使用で一時間当り2千円、陸上競技場は団体の専用利用で一時間当り1,050円などである。年間収入は平成28年度は382万円、29年度は408万円、30年度は392万円であった。

質問

陸上競技場の案内パンフレットはどう活用しているのか。

教育課長

体育施設の概要や使用料を記載したパンフレットは作成し活用している。また町のホームページでも利用者への情報提供をしている。パンフレットの更新は必要と考えている。

質問

鳥見山公園内と周辺の外灯はもつと拡充すべきでは。

- 交通安全対策について
- 国道4号線の4車線化に伴う騒音対策について



井土川好高議員

質問 通称「牧場踏切」の五差路交差点の事故減少対策として補助信号機が必要と思われるが、考え方を伺う。



「牧場踏切」五差路交差点

町長

「牧場踏切」五差路交差点は、交通事故が多発している認識している。その対策として、道路にカラー舗装の横断歩道の引き直しを実施した。これまでも交通事故対策として補助信号機の設置は有効であるとされており、須賀川警察署と県公安委員会へ要望したが、他の有効な安全対策がないか須賀川警察署と協議を行っている。考えている。

質問 この五差路交差点入口の手に段差をつける方法はないか伺う。

総務課長

昨年9月末にカラー舗装やラバーポール等により交差点の視認性を高める対策工事を実施した。その後の事故状況を警察署に確認したところ、運転者の安全確認不足が主な事故原因であるので、事故状況を検証しながら段差をつける方法も含めて調査していく。

質問

笠石鏡田線と北原不時沼線の交差点の歩道に下水道の本町ポンプ場と、電柱、街路灯があり見通しが悪い。町の早急な移動対応を伺いたい。

都市建設課長

場所はT字型交差点で主道路の笠石鏡田線に接続する北原不時沼線の一時停止で通行規制されており、車両利用者は安全確認が求められている。現地確認で左方確認の際に、ポンプ場や電柱等が視界を遮るため車両運転者は停止して



鏡石駅入口交差点

左右確認しなければならぬ。今後警察署や電柱等の道路占有者と協議して参りたい。

質問

下松本鏡石停車場線の五差路交差点に右折信号機の増設し、右折の矢印信号を設置すれば交通緩和を図れると思う。右折車が多く混雑するので一日も早い対応を伺う。

総務課長

本交差点は車の往来が激しく、朝夕は通勤・通学で混雑している。混雑解消には「矢印式信号機」の設置が有効と考えるが、右折専用車線が必要であり、現状の道路幅では

確保できないので検討する。

質問

ハートタウン「さかい7班」は21戸の住宅・7戸の集合住宅に住民が生活しており、4号線の4車線拡幅に伴い騒音対策が必要であるが、防音壁等の対策は考えているのか。

健康環境課長

自動車の騒音対策には環境省の定める環境基準の国道4号線の4車線化に伴う自動車騒音対策について環境基準を超えている場合は、国等に対して騒音防止対策を要請していきたいと考えている。



国道4号線

都市建設課長

公園内に57基の外灯を設置しており、今まで新規よりも既存のものに集中してきたが、指摘があれば新規のものも検討していきたい。

質問

まちの駅「かんかんてらす」の運営状況について

産業課長

「かんかんてらす」は平成30年5月オープンから1年10ヶ月経過し、現在町観光協会の3名のフルタイム職員と6名のパートタイム職員で運営している。現在農産物及び加工品販売者が62件、レンタルボックス出品者が13件、計75件となっている。本年度2月末までの来館者3万5千192人を数え、町のにぎわいの創出に大きく寄与していると思われる。今後町の農産物や特産品などの販売品の充実と更なる売り上げの向上、キッチンスペース、菓子製造室などの利活用によるチャレンジショップの展開や六次化商品等の開発や創業支援など改善すべき点もある。



一般質問

- 福祉政策について
- 空き家対策について
- 地域おこし協力隊について
- 成田地域の今後の計画について

菊地 洋議員

健康環境課長
本年度の実績評価は、制度導入前の問合せ件数は年間2〜3件であった状況からみると、5組の夫婦に経済的支援ができたことは、制度導入初年度としては一定の評価ができるものと考えています。

質問
本年度の実績評価は、

健康環境課長
広報がみいしや、県内の指定医療機関全てに町制度の案内を依頼している。

質問
不妊治療助成金の広報は、

健康環境課長
今年度からの新規事業であり、高額で保険診療が適用されない体外受精などを対象に、経済的負担を軽減するための助成事業である。2月現在の申請件数は5件、助成総額は44万6350円である。

質問
福祉政策について。不妊治療の一部助成事業初年度の実績は、

健康環境課長

健康環境課長

質問
ウイッグ等購入補助などがん治療の町補助金はどのようなものがあるか。

質問

総務課長

国の公的支援制度はある。しかし福島県や県内市町村においては導入されていない。なお県議会で審議中で可決されれば、県民対象の補助制度が開始される。

質問

地域おこし協力隊について、公募の実施時期は、

総務課長

令和元年10月1日より2名を募集中で問合せ4件ありました。

質問

成田地区の今後の計画について。アンケート調査の結果は公表できるのか。

総務課長

既に成田行政区役員や報道機関に情報提供している。

質問

阿武隈川・鈴の川の今後の対策は、

総務課長

国の直轄事業区間になる予定で、増水緩和の遊水池整備計画がある。

質問

第5次総合計画を総括して成田地区（宿屋敷）をどの様に考えていくのか。

町長

この度の被害状況を十分に踏まえ、将来にわたって成田地区住民の安心・安全確保を確保するという明確な指針を持ち今後の対策に当たっていく。高台移転等を含め、第6次総合計画にしっかりと盛り込んでいく考えである。



阿武隈川の決壊

- コロナウィルス肺炎拡大防止策について
- 学校給食無料化について
- 町民プール利用者拡大策について
- 林地保護と耕作放棄農地の活用策について
- 阿武隈川遊水池計画について

円谷 寛議員



質問
コロナウィルス肺炎拡大防止策としての休校要請や準備期間のなさなど後手後手に回っている政府の対応について町としての見解をお聞きしたい。

町長

政府としては一律の自粛要請を行うものではないが、卒業式・入学式は式典時間の短縮と参加人数を抑えて実施し、イベント等は特殊性や必要性のある物以外、懇親会等の宴席を自粛するよう周知したところである。

質問

学校給食費無料化について現在の実施状況は、

教育長

32自治体を実施し、全額補助が前回質問時より1団体増の13自治体、半額補助が1団体減の9自治体、一部補助が10自治体となっている。

質問

低所得者家庭への限定として学校給食無料化の実施は考



町民プール

えられないか。

教育長

現在修学困難な児童生徒に対して、修学援助費を支給して学用品費、通学用品費ほか学校給食費も含め、実質的な負担がないよう行なっている。

質問

町民プール利用拡大策として、中学校に水泳部の設置は考えられないか。

教育長

岩瀬地区には常設水泳部はなく、技術や記録を目指す生徒のために特設水泳部を設けて行なっている。来年度は二小、鏡中とともに「ずいずい」を利用しての授業を予定して

おり、町民プール利用拡大の大きな力になると考える。

質問

健康増進のためのプールとして矢吹方式（温泉熱）を利用した施設にできないか。

教育課長

温泉を利用するには大規模な改修が必要で、一昨年ろ過設備・温水ヒーター等の大規模改修を行い、1億4千2百万円の費用をかけたばかりであるので、次回の設備更新の参考とさせていただく。

質問

林地のソーラーパネル設置のための伐採が進められているが、水害発生の原因となるので町独自の抑止策を講ずるべきではないか。

産業課長

私たちの生活環境を守るためのルールとして各種届出制度が設けられており、自然環境に影響を与え、かつ自然景観に著しく違和感を与えるような大規模太陽光発電所や太陽パネル設置には、災害防

止や景観保護の観点からも抑止策について検討していきたい。

質問

耕作放棄地活用のためにも農地の二面的活用によるソーラーパネルの設置を農家に勧めてはどうか。

産業課長

営農を継続しながら農地に支柱を立て、上部にソーラーパネルを設置するソーラーシェアリングは、農産物価格が低迷する中で、営農を継続する経済的基盤の形成と後継者の確保にもつながるため、今後調査研究を進めたい。

質問

阿武隈川遊水池計画はどこまで明らかになっているか。

町長

去る1月31日に「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の中で、遊水池整備検討箇所として町を含む範囲が図示されており、今月（3月）中に国の説明会が予定されている。